

正・副議長就任の挨拶

『市民生活の 向上をめざし』



議長 倉川 陽 好

十月十一日に新生銚田市がスタートし、二十日の臨時議会において議員各位のご推挙を賜わり銚田市の初代議長に就任いたしました。誠に光栄でありますとともに職責の重大さに身の引き締まる思いであります。今後とも精進し銚田市議会の円滑な運営に邁進してまいりたいと思っております。さて、銚田、旭、大洋の三町村は昔から高等学校、警察、病院、買い物等々生活基盤を一緒にした銚田生活圏のなかで暮してまいりました。今回の合併がスムーズにいったのもそのような下地があったからではないでしょうか。これから新しい街づくりが始まるわけですが、議会では住民の皆様のご要望やご意見をいただきながら、行政に反映させてまいりたいと思っております。また、政府では、官から民へ、国から地方への考えのもとに、

行政改革や地方分権での地方への考えのもとに、行政改革や地方分権での地方への仕事の押付けや交付税の削減等々、地方の財政状況は厳しさを増しており、これからの地方の舵取りは大変な時期になってまいります。私が私たち市議会は住民の皆様様の市民生活の向上を図り、安心して暮らせる環境づくりに積極的に取り組んでまいりたいと思っておりますので、銚田市の皆様のお一層のご支援助力をお願い申し上げます、就任のあいさつといたします。

『市民の目線で』



副議長 野口 忠 篤

新銚田市誕生にともない、十月二十日臨時議会が開催されました。冒頭議長、副議長の選挙がありました。議員各位のご推挙を賜わり副議長に就任いたしました。誠に光栄でありますとともに、その責任の重大さを痛感いたしております。市政発展のため、

倉川陽好議長を補佐し、円滑な議会運営に努めて参る所存であります。現在、市の最大の課題は、各種団体の一本化ではないかと思っております。具体的には商工会、JA、住民で組織している関係団体、観光協会やスポーツ、文化団体、小学校の統合合併も入ると思います。新市誕生は行政改革のスタートです。我が銚田市の基幹産業が農業である以上、振興のため全力で努力することが、私どもに課せられた重大な責務であると認識しております。こうしたことから、私どもは常に市民の皆さんの「目線に立ち」皆さんの声を如何に市政に反映させるか、精一杯の努力を重ねながら頼られる議会を目指したいと考えております。「汝須らく、一身の安堵を思わば先ず四票の静謐を繕らん者か」との先哲の言葉があります。今後とも市民の皆様のお一層のご支援助と、ご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶といたします。



平成十七年 第一回臨時会

銚田市誕生後、初めての議会が開かれました。

十月二十日から二日間の会期で開催され、銚田市の発足に伴い、市の運営を図る上で必要となる条例一三八件の条例の専決処分などが提出され、承認されました。

平成十七年第一回臨時会が、十月二十日酒井長敬銚田市長職務執行者から招集されました。本臨時会は、十月十一日銚田市誕生後、初の議会のため冒頭、地方自治法第七七条の規定により、久保勝男議員が臨時議長をとつて開会され、議長の選挙を行いました。その後、初代議長に選ばれた倉川陽好議長の議事進行により、副議長選挙、新設合併のため、議会そのものの運営に必要な市議会会議規則の制定案、同委員会条例案が議員提案されました。そして、職務執行者からは、平成十七年度銚田市一般会計暫定予算、条例案など九件の専決処分についてが提出され、すべて報告のとおり承認されました。



主 な 質 疑

問 市議会議員、市長の選挙ポスターの掲示場設置に関する条例について、旧町村の総掲示箇所数と新市になっての掲示箇所数の違いがあるのかまた、「総数を減ずることができる」と明記されているが、減ずる用意があるのか、お伺いいたします。

答 ポスター掲示箇所数については違いはありません。また、総数を減ずる考えもありません。

問 銚田市土採取事業規制条例ですが、旧銚田町では今年一月第一回定例会で大幅に改正したが、これらの内容がこの条例に反映しているのか、お伺いいたします。

答 具体的には、事業者の責務、土地所有者の責務、届出の内容、規則では区長の意見を聴取するというところに強化してあり、この条例に引き継がれて

おります。

問 電源立地促進対策費補助金、原子力安全対策費について、お伺いいたします。

答 電源立地促進対策費補助金は、旧大洋村地区における火力発電施設に対する対策補助金で、内容的には消防施設ホース格納庫小型ポンプの購入補助金です。原子力安全対策費ですが、これは電源開発促進対策特別措置法の中の広報安全等対策交付金という事業の予算です。

問 減債基金の取崩しなのですが、その起債の償還に充てるのが原則ではないか、一般財源へ振り向けたというが、ちょっと無謀ではないか、お伺いいたします。

答 今議員が言われましたような形でございますが、確かに今の財政状況が厳しい中でのやりくりでございます。ですから、減債基金の取り崩したものであることの一一般財源化で対応したいという事で考えております。

問 水道事業について、ひとつ市として考えた場合、全体像が見えませんが、普及率とか、基本的データをお伺いいたします。

答 普及率については、大洋地区47・8%、銚田地区、旭地区が50%前後になっており、三事業とも合併協の中で旧銚田町水道事業が工事、整備完了した時点で統合し、認可を受けなおし一本化になる予定です。

主な討論(要旨)

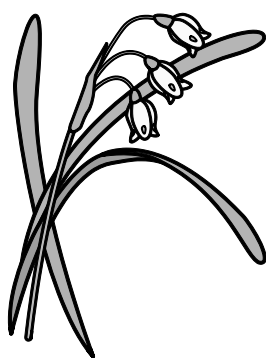
○銚田市議会議員の定数を定める条例の制定について、

反対討論

銚田市の面積は、旧銚田町の二倍の面積となり、それだけ住民の声が届きにくくなる懸念があります。地方自治法第91条第1項では、人口5万以上10万未満の市においては、議員の定数上限を30人と定めています。民意を市政に強く反映し、法律を遵守する立場から議員定数は30人とすべきと考えます。よって28人とする条例案について、反対をいたします。

賛成討論

この定数については、大洋、旭、銚田の学識経験者の皆さんが合併協議会の中で真剣かつ慎重に審議された内容でございます。この内容を尊重するうえから賛成いたします。



平成17年第1回臨時会 審議結果

(平成17年10月20日～10月21日)

報告第1号 専決処分の承認について、
本案、平成17年度旭村水道事業会計補正予算(第1号)は、銚田市に合併することにより、旧3団体を廃止することに伴い消費税の精算が生じたため補正を行なったものであります。

(全会一致承認)

報告第2号 専決処分の承認について、
本案、平成17年度銚田町水道事業会計補正予算(第1号)は、銚田市に合併することにより、旧3団体を廃止することに伴い消費税の精算が生じたため補正を行なったものであります。

(全会一致承認)

報告第3号 専決処分の承認について、
本案、平成17年度大洋村水道事業会計補正予算(第2号)銚田市に合併することにより、旧3団体を廃止することに伴い消費税の精算が生じたため補正を行なったものであります。

(全会一致承認)

報告第4号 専決処分の承認について、
本案、銚田市役所の位置を定める条例ほか、137件の制定については、銚田市発足に伴い、市の運営を図る上で必要となる条例を平成17年10月11日付けで一括専決処分したものであります。

(全会一致承認)

報告第5号 専決処分の承認について、
本案、平成17年度銚田市一般会計暫定予算ほか4件は、地方自治法施行令第2条の規定により、銚田市の平成17年度予算が成立するまでの間、必要な収支について暫定予算を調製し、執行するものであります。

(全会一致承認)

報告第6号 専決処分の承認について、
本案、平成17年度銚田市旭区域水道事業会計暫定予算ほか2件は、地方自治法施行令第2条の規定により、銚田市の平成17年度予算が成立するまでの間、必要な収支について暫定予算を調製し、執行するものであります。

(全会一致承認)

報告第7号 専決処分の承認について、
本案、鹿島地方公平委員会共同設置規約の一部を改正する規約は、鹿島地方公平委員会へ銚田市として加入するため、規約の一部を改正したものであります。

(全会一致承認)

報告第8号 専決処分の承認について、
本案、字の区域の変更及び名称の変更については、合併に伴い、字の区域の変更及び名称の変更を行なったものであります。

(全会一致承認)

報告第9号 専決処分の承認について、
本案、銚田市指定金融機関の指定については、合併前の3町村は、株式会社常陽銀行を指定金融機関としていたことから、合併後の金融事務を円滑に遂行するために株式会社常陽銀行を銚田市の指定金融機関にしたものであります。

(全会一致承認)

議案第1号 銚田市議会会議規則の制定について、
本案は、地方自治法第120条の規定に基づき銚田市議会の会議の運営に関する手続き及び議会内部の規律を定めるものであります。

(全会一致可決)

議案第2号 銚田市議会委員会条例の制定について、
本案は、地方自治法第109条、外により銚田市議会における委員会の組織及び運営に関する事項を定めるものであります。

(全会一致可決)

議案第3号 銚田市議会議員の定数を定める条例の制定について、
本案は、地方自治法第91条第7項の規定により議会議員の定数を定めるものであります。

(賛成多数可決)

選挙第1号 議長の選挙について**選挙第2号** 副議長の選挙について

選挙第3号 鹿行地方広域市町村圏事務組合議会議員の選挙について、
本案は、市町村合併の特例に関する法律第9条の3第2項の規定により、議員2名を選挙するものであります。

選挙第4号 大洗・銚田・水戸環境組合議会議員の選挙について、
本案は、議員4名を選挙するものであります。

農業委員の推薦について

本案は、農業委員会に関する法律第12条第1項第2号の規定による議会推薦の農業委員を推薦するものであります。

閉会中の継続審査の件について、

本案は、議会運営委員会から会議規則第104条の規定により、継続審査の申し出の件について、議会の議決を求めるものであります。

新しい銚田市の議員を 紹介します

議席番号

氏名

住所

年齢 職業

政党

 <p>5番 え ぬま ひさ お 江沼久男 造谷315-2 53歳 農業 無所属</p>	 <p>4番 いり え こう 入江 晃 鹿田63-1 49歳 農業 公明党</p>	 <p>3番 お がわ かず ひこ 小川一彦 当間677 46歳 会社員 無所属</p>	 <p>2番 みずかみ み ち こ 水上美智子 飯島909-39 43歳 政党役員 公明党</p>	 <p>1番 かた ば み かず ひこ 方波見和彦 安房1582 39歳 会社役員 無所属</p>
 <p>10番 はた たけ ひろ 畠 長弘 箕輪2258 46歳 農業 無所属</p>	 <p>9番 いで ぬま たけ お 出沼丈夫 銚田1652 61歳 建築請負業 無所属</p>	 <p>8番 いいつか こう えもん 飯塚幸右衛門 上沢382-5 59歳 乳類販売 無所属</p>	 <p>7番 お ぬま とし ひで 小沼俊秀 台濁沢820 57歳 農業 無所属</p>	 <p>6番 おにざわせん す け 鬼沢仙壽計 借宿1348 53歳 農業 無所属</p>
 <p>15番 お の せ のぶ お 小野瀬信夫 滝浜7 55歳 農業 無所属</p>	 <p>14番 すがや たつ お 菅谷達男 滝浜448-1 55歳 自営業 無所属</p>	 <p>13番 いわ ま かつ えい 岩間勝栄 勝下770 54歳 会社員 無所属</p>	 <p>12番 よね かわ そう じ 米川宗司 沢尻9 54歳 農業 無所属</p>	 <p>11番 い がわ しげ き 井川茂樹 箕輪1966 54歳 農業 無所属</p>

 <p>20番 おお かわ さ いち 大川 佐一 柏熊626 59歳 農業 無所属</p>	 <p>19番 とも べ まさ のり 友部 政徳 畑田1994 58歳 農業 無所属</p>	 <p>18番 お み つね じ 小見 恒司 飯島534 57歳 農業 無所属</p>	 <p>17番 さか づめ まもる 坂爪 衛 台濁沢599-1 57歳 石油販売 無所属</p>	 <p>16番 こ いずみ しげ ひろ 小泉 茂尋 紅葉488-1 56歳 農業 無所属</p>
 <p>25番 わ だ しげる 和田 茂 上大田794 62歳 農業 無所属</p>	 <p>24番 やま ぐち たかし 山口 徳 大戸544 62歳 農業 無所属</p>	 <p>23番 あ お き ふ み お 青木 富美男 田崎656 62歳 建設業 無所属</p>	 <p>22番 よ し だ い ち お 吉田 一男 鹿田830-28 62歳 農業 無所属</p>	 <p>21番 に い ほ り よ し ひろ 新堀 喜弘 造谷1509 60歳 農業 無所属</p>
 <p>30番 す が や ゆ き お 菅谷 幸雄 上沢259 69歳 無職 無所属</p>	 <p>29番 し む こ う べ か ず よ し 下河邊 一良 阿玉94 68歳 農業 無所属</p>	 <p>28番 く り た よ う 栗田 洋 子生 9 66歳 建設業 無所属</p>	 <p>27番 い ち げ い さ む 市毛 勇 柏熊296-42 65歳 会社役員 無所属</p>	 <p>26番 な か や ま ゆ う じ 中山 尚治 徳宿1447-5 63歳 無職 日本共産党</p>
 <p>35番 す ざ わ ま さ た か 須澤 正孝 舟木40-22 54歳 農業 無所属</p>	 <p>34番 や ま ざ き す す む 山崎 進 串挽887-266 53歳 保育園役員 無所属</p>	 <p>33番 お ぬ ま よ う い ち 小沼 洋一 台濁沢292-2 52歳 農業 無所属</p>	 <p>32番 と う み ね た け し 東峯 猛 汲上1244 70歳 農業 無所属</p>	 <p>31番 ひ だ か さ だ お 日高 貞雄 造谷991 69才 農業 無所属</p>

 <p>40番 おぬま てるお 小沼輝雄 箕輪2784-3 63歳 自営業 無所属</p>	 <p>39番 せきね げんぞう 関根源三 上釜280-1 61歳 農業 無所属</p>	 <p>38番 せいし まさみ 勢司正躬 安房1407-21 59歳 自営業 無所属</p>	 <p>37番 いじま ゆきお 飯島幸夫 二重作835 58歳 農業 無所属</p>	 <p>36番 たぐち せいいち 田口清一 勝下244-1 54歳 農業 無所属</p>
 <p>45番 たかの たかのり 高野隆徳 阿玉275 48歳 農業 無所属</p>	 <p>44番 くぼ かつお 久保勝男 上幡木1656-25 72歳 団体役員 無所属</p>	 <p>43番 ほった まさひで 堀田正秀 半原2338-2 71歳 農業 無所属</p>	 <p>42番 たかの たけお 高野武夫 梶山631 68歳 農業 無所属</p>	 <p>41番 よね かわ たけし 米川武 荒地296 65歳 農業 無所属</p>
 <p>50番 たかの まもる 高野衛 青柳2786-13 48歳 農業 日本共産党</p>	 <p>49番 すずき くにひこ 鈴木邦彦 新銚田2-5-8 68歳 農業 無所属</p>	 <p>48番 のぐち ただあつ 野口忠篤 串挽982-1 60歳 自営業 公明党</p>	 <p>47番 いしざき よしかず 石崎良一 徳宿2003-1 58歳 農業 無所属</p>	 <p>46番 おにざわ ひろし 鬼澤寛 畑田1948-1 52歳 農業 無所属</p>
 <p>55番 たぐち まさお 田口正男 梶山2047 59歳 農業 無所属</p>	 <p>54番 ほった しょうえ 堀田正衛 徳宿3107 56歳 漬物業 無所属</p>	 <p>53番 いしづ たけよし 石津武吉 上沢1469 51歳 政党役員 日本共産党</p>	 <p>52番 おおつき たけのり 大槻武徳 当間204 63歳 林業 無所属</p>	 <p>51番 くら かわ あきよし 倉川陽好 札137-2 59歳 理容業 無所属</p>

委員会構成

総務企画常任委員会 (13人)

委員長	坂爪	衛	委員	山口	徳夫
副委員長	岩間	勝米	委員	飯島	幸
委員	畠	長弘	委員	米川	隆忠
委員	小泉	茂尋	委員	高野	徳篤
委員	小見	恒司	委員	高野	徳篤
委員	大川	佐一	委員	高野	徳篤
委員	新堀	喜弘	委員	高野	徳篤

市民生活常任委員会 (14人)

委員長	米川	宗司	委員	菅谷	幸雄
副委員長	方波	見和彦	委員	日高	貞雄
委員	入江	晃夫	委員	小山	洋一
委員	出沼	丈夫	委員	山崎	一進
委員	菅谷	達男	委員	勢司	正躬
委員	小野	瀬信夫	委員	久保	勝男
委員	市毛	勇	委員	石津	武吉

産業経済建設常任委員会 (14人)

委員長	井川	茂樹	委員	東峰	猛孝
副委員長	鬼澤	寛彦	委員	須澤	正輝
委員	小川	一彦	委員	小沼	武夫
委員	小沼	俊秀	委員	高野	正良
委員	吉田	一男	委員	堀田	正良
委員	青木	富美男	委員	石崎	正良
委員	和田	茂	委員	石崎	正良

文教福祉常任委員会 (13人)

委員長	江沼	久男	委員	下河邊	一良
副委員長	鬼沢	仙壽計	委員	田口	清一
委員	水上	美智子	委員	関根	源三
委員	飯塚	幸右衛門	委員	鈴木	邦彦
委員	友部	政徳	委員	大槻	武正
委員	中山	尚治	委員	堀田	正徳
委員	栗田	洋	委員	堀田	正徳

議会運営委員会 (8人)

委員長	和田	茂	委員	小沼	洋一
副委員長	小泉	茂尋	委員	山崎	一進
委員	大川	佐一	委員	大槻	武正
委員	栗田	洋	委員	田口	正男

議会広報編集委員会 (8人)

委員長	新堀	喜弘	委員	飯塚	幸右衛門
副委員長	水上	美智子	委員	山口	徳一
委員	入江	晃	委員	石崎	良一
委員	小沼	俊秀	委員	石津	武吉

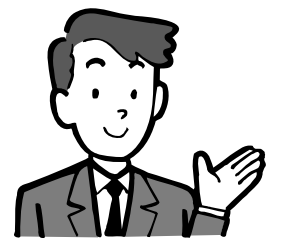
鹿行地方広域市町村圏事務組合議会議員 (2人)

大槻 武徳 議員 田口 正男 議員

大洗・銚田・水戸環境組合議会議員 (4人)

関根 源三 議員 倉川 陽好 議員
米川 武 議員 堀田 正衛 議員

議会への声



議会への声は、皆さんのページとして、お寄せいただいたご意見、ご要望を紹介したいと思えます。どしどしお寄せください。

詳しくは議会事務局まで問い合わせください。

TEL 〇二九一―三三二―一
内線 一三一―
FAX 〇二九一―三三六〇〇二
Eメール gikai@city.hokota.lg.jp

議会広報編集委員会
委員長 新堀 喜弘
副委員長 水上 美智子
委員 入江 晃
委員 小沼 俊秀
委員 飯塚 幸右衛門
委員 山口 徳一
委員 山崎 良一
委員 石津 武吉

編集後記

銚田市の誕生を心よりお祝い申し上げます。旭、銚田、大洋の三町村が新設合併して十月十一日「銚田市」が誕生した。面積は一〇三・九平方キロメートルで人口は五万二千七百人余となり、県内では十九番目の規模になる。過去の合併論議の中で紆余曲折もあったが、合併の結果としては自然の成り行きとも言うべく、落ち着く所に落ち着いたといっても良いであろう。それは各町村の共通している点、東は鹿島灘に面し、概ね平坦な地形、農業を基幹産業として発展してきたこと、風土や文化、言葉づかい等も変りなく住民の気質なども類似している点などがあげられるであろう。合併を出発点として住民の融和をはかり「銚田市」が益々発展していくことを願いたい。

(新堀 記)

議会推薦農業委員

石崎 千恵子氏 銚田市滝浜
平沼 邦雄氏 銚田市大竹
小田 弘氏 銚田市銚田
久保 勝男氏 銚田市上幡木